



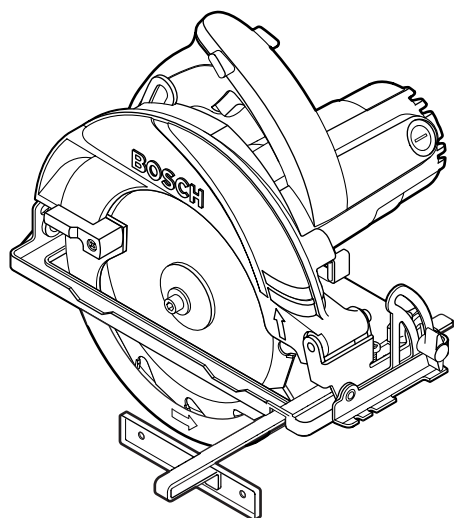
BOSCH

DIY 電動工具

丸のこ

PKS 165型

PKS 190型



取
扱
説
明
書

このたびは、弊社丸のこをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みにになり、正しくお使いください。
- お読みにになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。

目次

●安全上のご注意	
警告表示の区分	2
電動工具全般についての注意事項	2
丸のこについての注意事項	7
●本製品について	
用途	11
各部の名称	11
仕様	12
標準付属品	13
●使い方	
切断前の準備をする	14
切断する	22
吸じんシステム（別売）と接続する	27
●困ったときは	
故障かな？と思ったら	28
修理を依頼するときは	29
●お手入れと保管	
クリーニング	30
保管	30

ご安全
注意の

本製品
について

使用
方法



困った
ときは

お手入れ
と保管

安全上のご注意

- ◆火災、感電、けがなど事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ご使用前に、この『安全上のご注意』をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

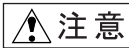
警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。




警告

- ◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

- ◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具全般についての注意事項

ここでは、電動工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいた丸のこには、当てはまらない項目も含まれています。

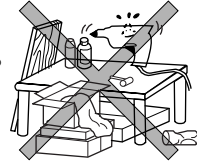


警 告

ご安全上の注意

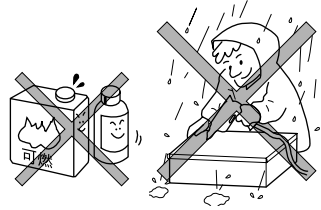
1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ◆ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



3. 感電に注意してください。

- ◆ 電動工具を使用中、アースされているものに身体を接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)

4. 子供を近づけないでください。

- ◆ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- ◆ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は錠のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。

- ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。

- ◆ 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



9. 保護めがねを使用してください。

- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉塵の多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10. 防音保護具を着用してください。

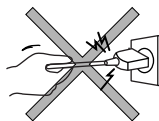
- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

11. 集塵装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ◆ 電動工具に集塵機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

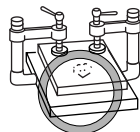
12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



13. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

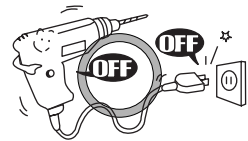


15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- ◆ 使用しない、又は修理する場合。
- ◆ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。

- ◆ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

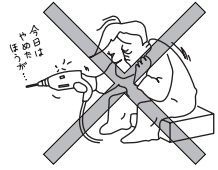
- ◆ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



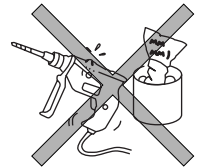
21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか、十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。

取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店又はポッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店又はポッシュ電動工具サービスセンターへ修理を依頼してください。

- ◆ スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。



22. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、及びポッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店又はポッシュ電動工具サービスセンターにお申しつけてください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

丸のこについての注意事項

電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、丸のこをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

ご安全
注上
意の



警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で供給してください。
 - ◆ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、事故の原因になります。
2. のこ刃は、銘板に表示してある範囲内のものを使用してください。また、刃底径がPKS165は139mm以下、PKS190は163mm以下ののこ刃は使用しないでください。
 - ◆ 指定外ののこ刃は、けがの原因になります。
3. 機体を万力などで固定して使用しないでください。
 - ◆ 思わぬ事故の原因になります。
4. 使用中は、回転部や切り粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - ◆ けがの原因になります。
5. 切断する箇所に、電線管や水道管、ガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - ◆ 埋設物にのこ刃が触れると、感電・漏電・ガス漏れ事故の原因になります。
6. 保護カバーは絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
 - ◆ のこ刃が露出しているとけがの原因になります。
7. 切断する材料は、安定した台に置いてください。
 - ◆ 不安定な台に置くと、けがの原因になります。

8. 切り落とし寸前や中断中に、のこ刃が材料の重みではさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。

◆ のこ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。

9. 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性の良い台を設けてください。また、切り落とした材料がのこ刃と接触し飛散するのを防ぐために、台の高さは、のこ刃の出しろの3倍以上にしてください。

◆ このような台がないと、けがの原因になります。

10. 切断途中で作業を中断する場合は、メインスイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持ち上げてください。

◆ のこ刃を回転させたまま本体を持ち上げたり、戻したりすると、強い反発が生じ、けがの原因になります。

11. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、のこ刃や製品などに破損や亀裂、変形がないか点検してください。

◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

12. 作業中は、丸のこ本体を確実に保持してください。

◆ 確実に保持していないと、けがの原因になります。

13. 使用中は、のこ刃で電源コードを傷つけないよう注意し、常に本体の後方に離してご使用ください。

◆ 感電の恐れがあります。

14. 使用中、機械の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちに「メインスイッチ」を切って使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。

◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

15. スタンド等の使用による定置作業は行わないでください。

◆ 事故の原因になります。



注 意

ご安全
注上
意の

1. のこ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ◆ 確実にしないと外れたりし、けがの原因になります。
2. のこ刃にヒビや割れがないことを確かめてください。
 - ◆ のこ刃が破損し、けがの原因になります。
3. 取扱説明書に記載されている用途および能力以上の作業はしないでください。
 - ◆ 故障の原因になります。
4. 作業前に、人のいない方向にのこ刃を向けて空転させ、機体の振動やのこ刃のぶれなどの異常がないことを確認してください。
 - ◆ 異常があるとけがの原因になります。
5. ブレーキが働くときの反発力に注意してください。
 - ◆ 機体を落としたりし、けがの原因になります。
6. 高所作業のときは、下に人がいないかよく確かめてください。また、電源コードを引っ掛けたりしないでください。
 - ◆ 材料や製品などを落としたとき、事故の原因になります。
7. 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
 - ◆ 強い反発が生じ、けがの原因になります。
8. 回転させたまま、台や床などに製品を放置しないでください。
 - ◆ 事故の原因になります。
9. 材料の上に手を置いたまま切断しないでください。
 - ◆ 誤って手を切ったりします。

10. 材料に釘などの異物がないことを確かめてください。

◆ 歯先が欠けたり、反発によりけがの原因になります。

11. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋は着用しないでください。

◆ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

12. 切断直後、のこ刃は高温になっていますので、触れないでください。

◆ やけどの原因になります。

13. 市販ののこ刃を使用する場合は、のこ刃に表示されている回転数が丸のこ本体の回転数を上回っているか確認してください。

のこ刃の回転数 $>$ 丸のこ本体の回転数
5000min⁻¹ (回転/分)

◆ 丸のこ本体の回転数以下ののこ刃を使用すると、のこ刃が外れたりし、けがの原因になります。

本製品について

用途

◆ 木材の切断

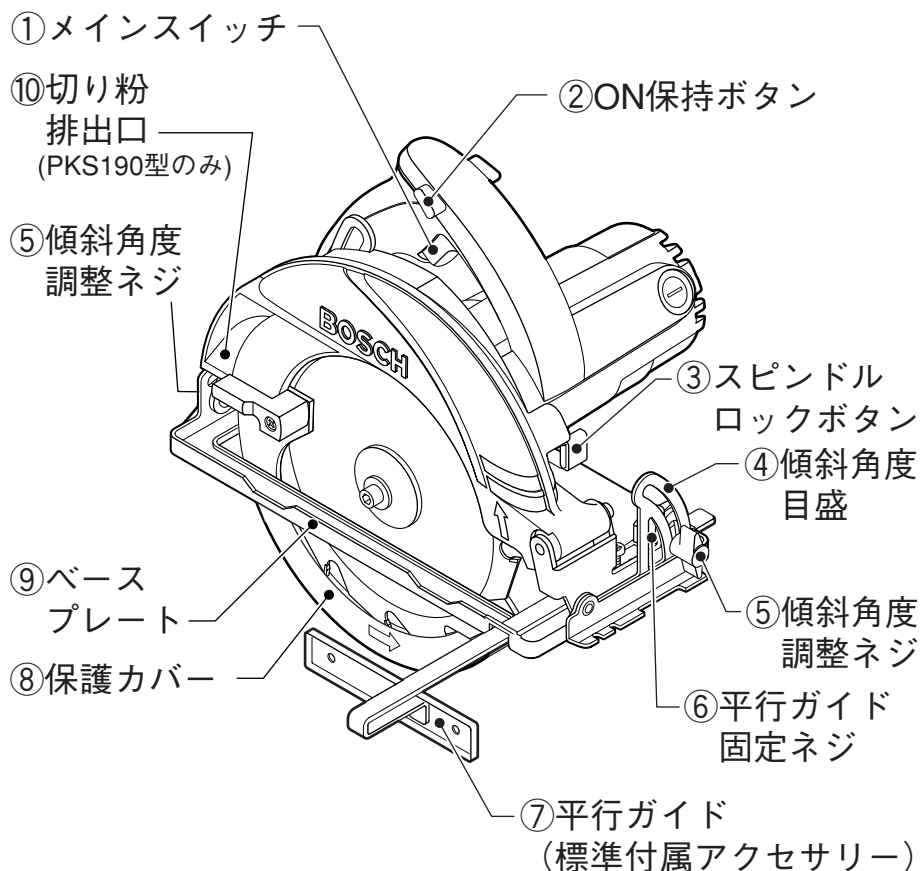
※切断砥石は使用できません。

※本製品はご家庭での使用を想定した「DIY用」製品です。

業務（建築作業等）での頻繁なご使用には適していません。

つ本
製
い
品
てに

各部の名称



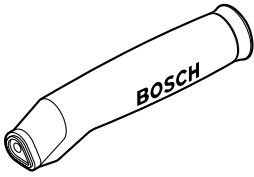
◆このイラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕 様

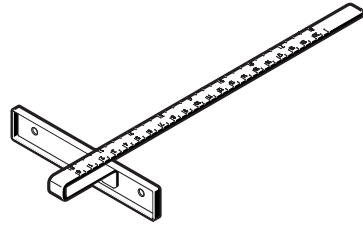
型 番	PKS 165	PKS 190
使用電源	単相AC100V, 50/60 Hz	
消費電力（入力）	1050W	1050W
回転数（無負荷時）	5000 min ⁻¹ （回転/分）	
のこ刃寸法	外径165 mm×内径20 mm	外径190 mm×内径20 mm
使用できるのこ刃の外径	165 mm	184～190 mm
使用できるのこ刃の厚さ	最大1.6mm	
最大切り込み深さ		
0°	55 mm	66 mm
45°	36 mm	46 mm
傾 斜	0°（直角）～45°	
質 量	3.6 kg	3.8 kg

つ本
製
い
品
てに

標準付属品



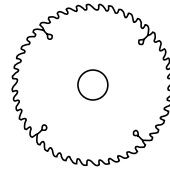
サイドハンドル
(専用取り付けネジ付)



平行ガイド



六角レンチ



のこ刃 (チップソー)

ボッシュの純正アクセサリー
ではありません。
市販ののこ刃をお求めくださ
い。

つ本
製
い品
てに

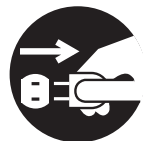
◆イラストの形状は、実物と異なる場合があります。

使い方

切断前の準備をする



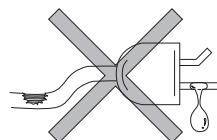
- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、切断前の準備をするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 電源コードや電源プラグが損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。



使
い
方

● 使用電源を点検する

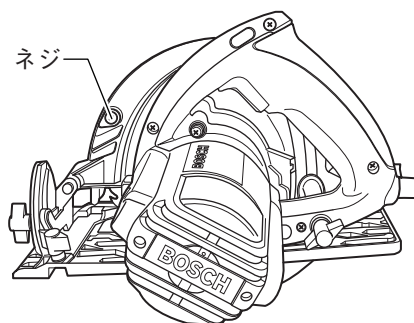
- 単相 AC100V (50/60Hz) か？
- コンセント不良 (ガタ) のため、電源プラグが簡単に抜けないか？
- 電源コードが断線していたり、電源プラグが破損していたりしていないか？



● サイドハンドルを取り付ける・取り外す

取り付け

1. サイドハンドル取り付け部に取り付けられているネジを緩め、取り外します。

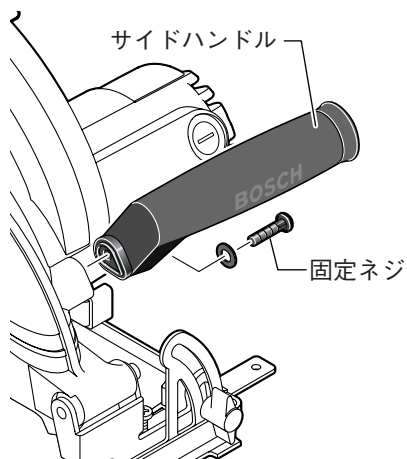


2. サイドハンドルを取り付け部にセットし、ワッシャーと取り付け専用ネジで固定します。

☞ サイドハンドルの取り付けには、取り付け専用のネジを使用してください。

出荷時に取り付けられているネジとサイドハンドル取り付け専用ネジでは、長さが異なります。

☞ 取り付け専用ネジは、市販のドライバー等で確実に締め付けてください。

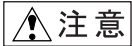


使
い
方

取り外し

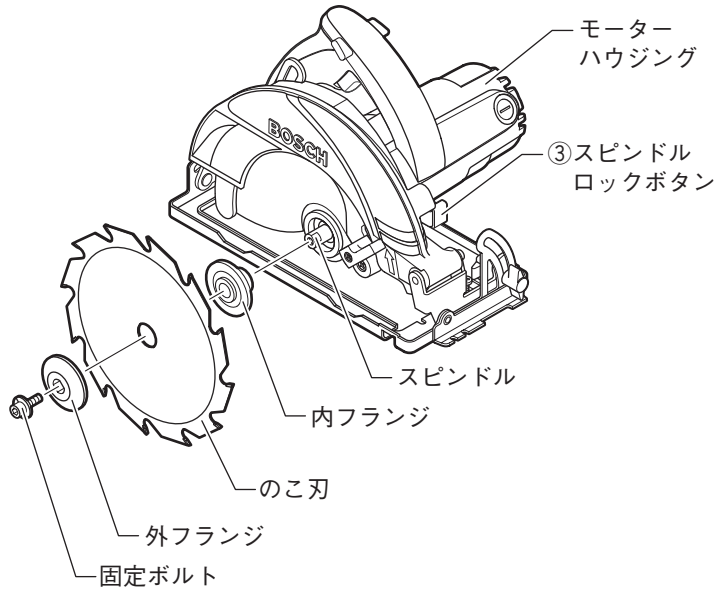
1. サイドハンドル取り付け専用ネジを緩め、サイドハンドルとワッシャー、取り付け専用ネジを取り外します。
2. 出荷時に取り付けられていたネジを取り付け、締め付けます。

● のこ刃を取り付ける・取り外す



注意

◆ のこ刃の取り付け、取り外しは、付属の六角レンチを使用して作業を行ってください。他の工具を使用して作業すると、締め過ぎや締め付け不足になり、けがの原因になります。



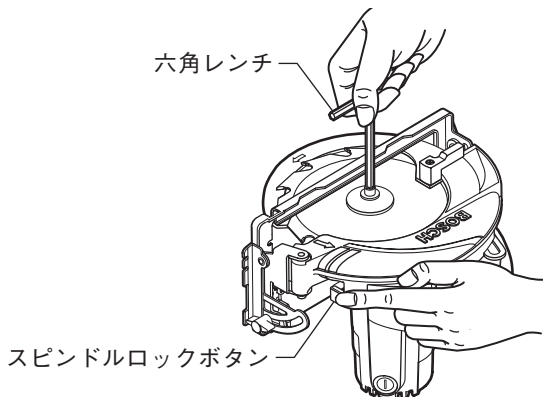
使
い
方

取り付け

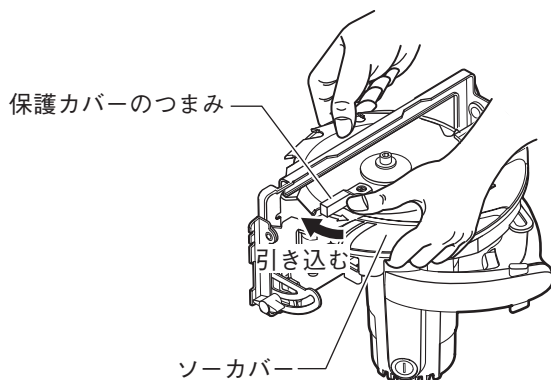
1. モーターハウジングを下にして、本機を置きます。
2. スピンドル周辺の切り粉、ホコリを吹き飛ばします。



3. 「スピンドルロックボタン③」を押しながら、六角レンチ（標準付属品）で固定ボルトを回して緩めます。

☞ スピンドルには「スピンドルロックボタン③」がかみ合う位置がありません。「スピンドルロックボタン③」を押しながら固定ボルトを回し、スピンドルが確実にロックする位置を探してください。スピンドルがロックする位置では、「スピンドルロックボタン③」が一段深く押し込めま



4. スピンドルから固定ボルトと外フランジ、内フランジを取り外します。
5. のこ刃、固定ボルト、外フランジ、内フランジを清掃します。
6. 内フランジの凸部をのこ刃側に向け、スピンドルにかみ合うようにはめ込みます。
7. 保護カバー⑧のつまみを引き込んで保護カバー⑧をいっぱいまで引き上げた状態で保持します。



8. のこ刃をスピンドルに取り付けます。
 のこ刃に刻印された矢印が、ソーカバーの矢印と同じ向きになるように、のこ刃を取り付けてください。
9. 保護カバー⑧のつまみを離します。
10. 外フランジの凹部をのこ刃側に向けてスピンドルにはめ込み、固定ボルトを差し込みます。
11. 「スピンドルロックボタン③」を押しながら、六角レンチで固定ボルトを回して締めます。
 スピンドルがロックされていないと、固定ボルトを締め付けることはできません。
12. 「スピンドルロックボタン③」を離します。

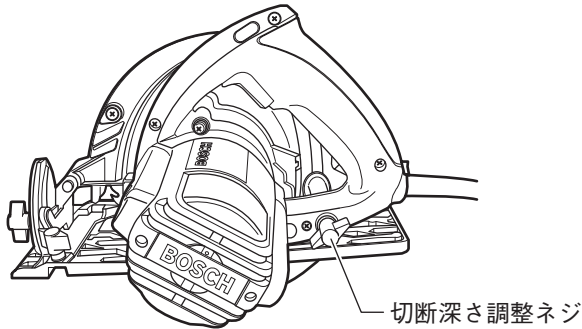
取り外し

1. モーターハウジングを下にして、本機を置きます。
2. 「スピンドルロックボタン③」を押しながら、六角レンチ（標準付属品）で固定ボルトを回して緩めます。
 - ☞ スピンドルには「スピンドルロックボタン③」がかみ合う位置があります。「スピンドルロックボタン③」を押しながら固定ボルトを回し、スピンドルが確実にロックする位置を探してください。スピンドルがロックする位置では、「スピンドルロックボタン③」が一段深く押し込めます。
3. スピンドルから、固定ボルトと外フランジを取り外します。
4. 保護カバー⑧のつまみを引き込んで保護カバー⑧をいっぱいまで引き上げた状態で保持します。
5. のこ刃を取り外します。
6. 保護カバー⑧のつまみを離します。
7. 外フランジの凹を本体側に向けてスピンドルにはめ込み、固定ボルトを差し込みます。
8. 六角レンチで固定ボルトを回して締めます。

● 切断深さを設定する

※傾斜切断をする場合は、切断深さの調整はできません。

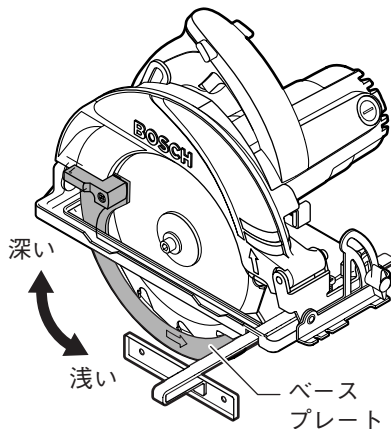
1. 切断深さ調整ネジを緩めます。



2. ベースプレートを動かして深さを調整します。

ベースプレートを下げると切り込み深さは小さく(浅く)なり、ベースプレートを上げると切り込み深さが大きく(深く)なります。

☞ 最適な切断をするためには、のこ刃の歯先が材料下面から3mm以上はみ出さないようにしてください。



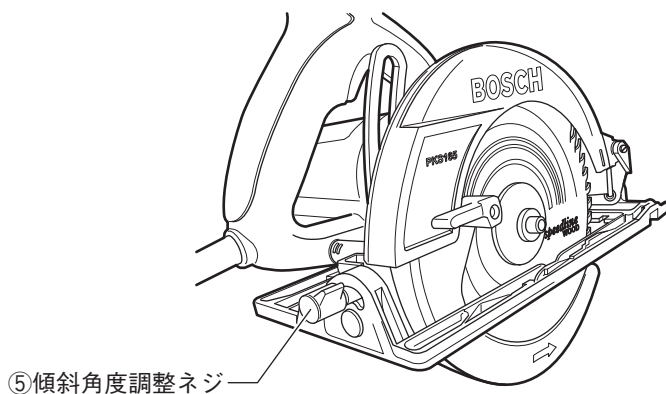
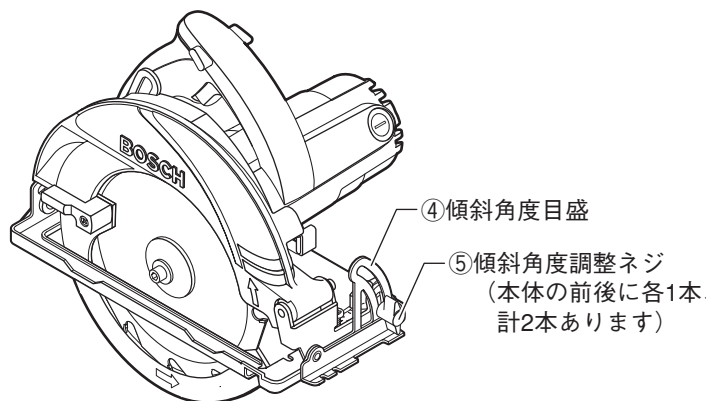
3. 切断深さ調整ネジを締めます。



◆ ベースプレート固定ネジは、確実に締め付けてください。

● 傾斜角度を調節する

1. 傾斜角度調整ネジ⑤（2本）を緩めます。
2. 傾斜角度目盛④を見ながら、ベースプレートに必要な角度に傾けます。
切断角度は左30°～右45°に設定できます。
3. 傾斜角度調整ネジ⑤（2本）を締めます。



使
い
方

切断する



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「メインスイッチ①」が“ON”の状態では保持されていないことを確認してから、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。




注意

- ◆ スイッチを切ると同時にブレーキがかかります。ブレーキがかかると反発力が発生しますので、機体をしっかり保持してください。機体をしっかり保持していないと、機体を落としたりして、けがの原因になります。
- ◆ ご使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。万一、正常に作動しない場合は使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

使
い
方

1 材料を確実に固定する

 材料の固定には、クランプや万力を使用してください。

2 のこ刃、保護カバーを点検する

- のこ刃がしっかりと取り付けられているか？
- のこ刃が曲がったり、歯先が欠けていたりしていないか？
- のこ刃が摩耗していないか？
- 切り粉がたまっていないか、保護カバーがスムーズに動くか？

3 切断深さを確認する


切断深さが正しく調整されているか確認してください。

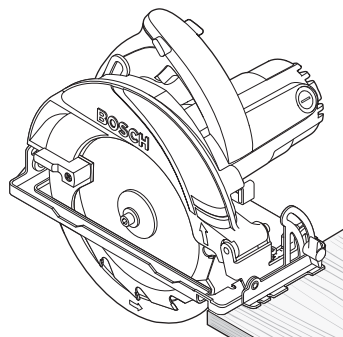
最適な切断をするためには、のこ刃の歯先が材料下面から3mm以上はみ出さないようにしてください。

4 電源プラグを電源コンセントに差し込む

5 本体を材料にセットする

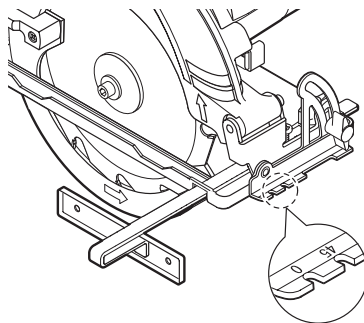
材料の上にベースプレートを置きます。
けがき線にベースプレート前部の切断マ
ークを合わせます。

 のこ刃が材料に当たらないようにして
ください。



切断マーク

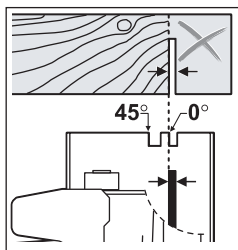
ベースプレート⑨には、“0”と“45”
の切断マークがあります。



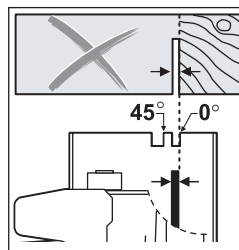
マークの切り欠き幅は、のこ刃の幅を含
んでいます。

のこ刃の幅によって、製品の寸法が短くならないよう、図のように切り欠
きを切断線に合わせて、切断してください。


切断マーク“0”は直角切断、“45”は45°切断の時ののこ刃位置を示し
ます。



材料の右側を切り落とす
切断マークの左側を切断線
に合わせる



材料の左側を切り落とす
切断マークの右側を切断線
に合わせる

 試し切断することをおすすめします。

使
い
方

6 「メインスイッチ①」を操作する

スイッチのON/OFF

スイッチON : 「メインスイッチ①」を引き込みます。

スイッチOFF : 「メインスイッチ①」から指を離します。

連続作業する

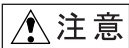
- 連続作業するとき、「メインスイッチ①」をいっぱいまで引き込み、「ON保持ボタン②」を左右どちらかの方向に押し込みます。
- 再度「メインスイッチ①」を引き込むと、「ON保持ボタン②」は解除されます。

使
い
方

7 切断を始める



- ◆ 作業中に振り回されないよう、本体をしっかり保持して、作業してください。
- ◆ 作業中は常に、丸のこ本体より後方に電源コードがくるようにしてください。
電気コードが巻き込まれると、事故の原因になります。



- ◆ 切断時、丸のこ本体は軽く押すだけで十分です。必要以上に強く押し付けると、のこ刃を傷めて切断効率が下がったり、本体が故障したりします。
負荷が掛かりすぎてのこ刃が止まった場合は、直ちに「メインスイッチ①」を切り、作業を中断してください。
- ◆ 丸のこ本体をこじったり、材料に強く押しつけるような使い方はしないでください。反発（キックバック）の起こる可能性があり、大変危険です。

のこ刃が材料に触れない状態で、「メインスイッチ①」を“ON”にし、回転が十分に上がってから切断を始めてください。

切断は、ベースプレートを材料に密着させ、けがき線に沿って、まっすぐ、ゆっくり本体を押し進めます。

8 切断を終了する

「メインスイッチ①」から指を離すと、のこ刃が止まります。
「ON保持ボタン②」でON状態になっているときは、「メインスイッチ①」を引き込むと止まります。



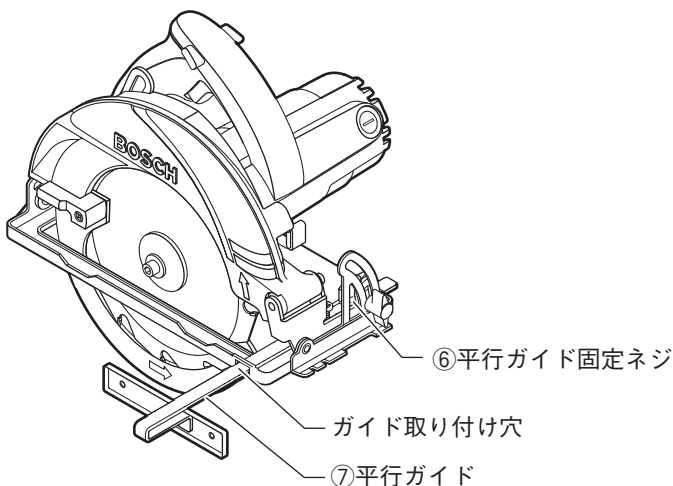
注意

- ◆ のこ刃が完全に止まるまで、本体を床やテーブルなどに置かないでください。
- ◆ スイッチを切ったあと、のこ刃の動きを無理に止めないでください。

● 平行ガイドを使用して切断する


正確にまっすぐ切断したり、同じ寸法の切断が繰り返すことができます。

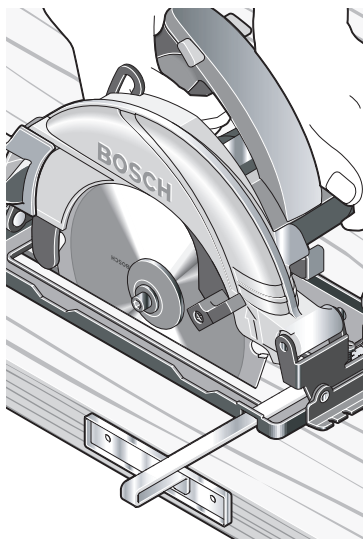
1. ベースプレートのガイド取り付け穴に平行ガイド⑦を図の向きで差し込みます。
2. 平行ガイド⑦のメモリで、切断する幅を設定します。
3. 平行ガイド固定ネジ⑥で、平行ガイド⑦を固定します。



4. 「切断する」(22ページ参照)の手順①～⑧に従って、切断作業を行います。

丸のこは、切断材料の側面に沿って、軽く材料に押し付けるようにしながら、一定の速度で動かしてください。

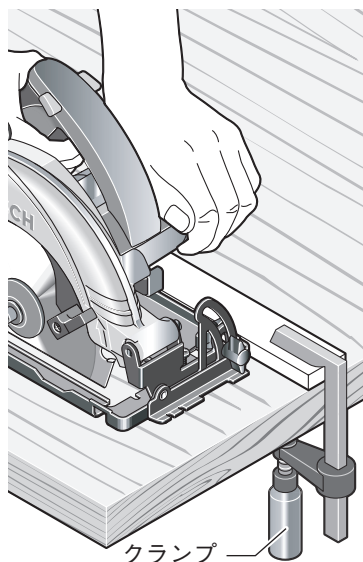
 切断する幅が合っているか確認するため、一度試し作業されることをおすすめします。



● 角材などを使用して切断する

角材などを使用して平行切断を行う場合は、切断材料と角材などを固定具(ネジ式クランプなど)で確実に固定してください。

切断作業は、ベースプレート⑨を角材などに押し当てながら、丸のこ本体を一定の速度で動かしてください。



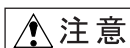
吸じんシステム（別売）と接続する（PKS190型のみ）

ボッシュマルチクリーナーと接続することで、吸じんしながら作業ができます。また、本機は連動機能付きボッシュマルチクリーナーに直接接続できます。連動機能付きマルチクリーナーと接続すると、本機が起動すると自動的にマルチクリーナーが起動します。




警告

- ◆ 人体に有害な粉じんが発生する材料は吸じんしないでください。

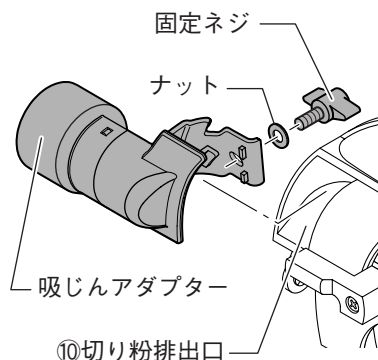



注意

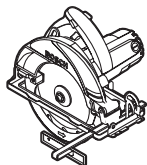
- ◆ マルチクリーナーが接続されていないときは、吸じんアダプターを接続しないでください。排出口が詰まる恐れがあります。

 吸じんアダプターは別売です。

1. 切り粉排出口⑩に吸じんアダプターを挿入します。
2. ナットと固定ネジで吸じんアダプターを固定します。
3. 吸じんホース（φ35mm）を吸じんアダプターに接続します。
4. 吸じんホースとボッシュマルチクリーナーを接続します。



 切り粉の排出を最適に保つため、吸じんアダプターは定期的に清掃してください。



丸のこ
PKS190型

+



吸じんアダプター
（別売）
2 608 000 323

+



ホース（別売）
φ35mm
2 607 002 149 (3 m)
2 607 002 150 (5 m)



マルチクリーナー
（別売）

使
い
方

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ①『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
「メインスイッチ①」を引き込んでも、回らない	電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない 電源コードが断線している	電源プラグを電源コンセントに差し込む 修理を依頼する
作動したまま、止まらない	「メインスイッチ①」がいったいまで引き込まれた(ON保持)状態になっている	「メインスイッチ①」をさらに引き込んで指を離し、ON保持状態を解除する
切断に時間がかかる(切断できない)	のこ刃が摩耗している 使用電源の電圧が低い	のこ刃を交換する 100Vの電源を使う

困ったときは

修理を依頼するときは

- ◆『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはポッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店またはポッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル ☎ 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後6:00

*携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ポッシュ電動工具サービスセンター北海道

〒003-0873 北海道札幌市白石区米里3条2-6-33

TEL 011-875-2388 FAX 011-879-2138

ポッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県大里郡江南町大字千代字東原39

ゼクセルロジテック内

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ポッシュ電動工具サービスセンター西日本

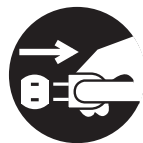
〒811-0104 福岡県糟屋郡親宮町の野741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

お手入れと保管




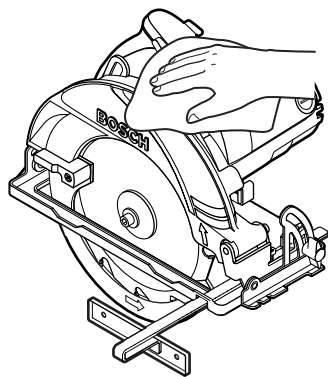
- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、電源プラグを電源コンセントから抜き、お手入れをしてください。



クリーニング

- 通風口や保護カバーなどの切り粉、ホコリを取り除く
- 乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

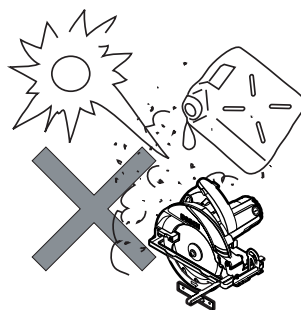
 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



保 管

- 丸のこを使った後は、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。



- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカatalog請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



BOSCH

ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ： <http://www.bosch.co.jp>

〒150-8360 東京都渋谷区渋谷3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前9:00～午後6:00)

*携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤル
のご利用はできませんのでご了承ください。

EMA-PKS165,190